

# 朝の館内放送

令和3年8月2日

おはようございます、市長の中村健です。

昨年9月の館内放送で、予算編成にあたっては、財源構成も意識して、国や県の補助金・交付金の活用を積極的に検討してほしいと申し上げました。

なぜなら、直接的に市の持ち出しになる一般財源でなく、他の財源を活用できれば、その分だけ他の事業に一般財源を回せるため、結果としてより多くの市民のための仕事ができるからです。

しかしながら、近年創設されたものや、部門横断的な発想が必要とされるものについては、こまめな情報収集や縦割りにとらわれない柔軟な考え方が求められるため、自治体の手腕が問われると言っても過言ではありません。

西尾市は、国や県の補助金・交付金の活用が上手でないという意見を聞くことが少なくありませんでしたが、最近では、都市再生整備計画事業を通しての社会資本整備総合交付金や地方創生拠点整備交付金をはじめ、これまであまり活用できていなかったメニューの活用もできるようになってきたと感じています。

中には、活用するか否かで、市の負担が億単位の金額で変わってくるものもあり、積極的に補助金・交付金の獲得のために知恵を出し、アクションを起こし

てくれている職員のみなさんの頑張りに対し、改めて感謝いたします。

特にハード事業については、多くの施設が老朽化し、再配置は待ったなしの状況です。

長寿命化という手段だけに頼るのではなく、各種の補助金・交付金も上手に活用しながら、サービスの充実と市の負担抑制の両立を図れるよう、柔軟かつ積極的な取り組みへの協力をお願いします。

以上で、朝の館内放送を終わります。